

1 この科目の構成について

教 科	情 報	科 目	ビジネス情報	単 位	4単位
対象コース	情報ビジネスコース	対象クラス	3年7組		
使用教科書					
使用副教材	日本情報処理技能検定模擬問題集(1級, 2級) 自主教材(ネットワーク上にある指示ファイル)				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
	情報メディアでは、ビジネスに関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して専門的な知識と技術の進化、総合化を図るとともに、問題解決能力や自発的、創造的な学習態度を身に付けて下さい。
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
	(1)情報処理の工夫→日検情報処理技能検定を題材として、表計算ソフトを使ったデータベース機能について学習します。情報の検索と収集の仕方を学びます。 (2)いろいろな文書作成→POP 広告を作成してポイントを絞った表現方法を学び、表現力の向上を図ります。 (3)ベンチャービジネス ・ビジネスに対する基本的な心構えのうち、チームワークや創造性、主体性、自己責任の観念を体験・理解してもらいます。
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
	(1) 学校 聞く時間、作業する時間をわけて授業を行います。とにかく授業に集中してください。また、板書は大事な部分しか書きませんので、メモを取るように心がけましょう。 (2) 家庭 家庭にパソコンがないところもあるので、家庭での学習はなかなかできないと思います。

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何をを使って評価するのか—
	(1)定期考査→第2回考査を行います。授業で行った内容から出題しますが、情報メディアと合併での出題となります (2)授業中での課題→授業中に課題を提示します。(ファイルを提出、印刷して提出)
評価における定期考査の割合	
30%	

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
	(1) 関心・意欲・態度 課題や作業への取り組みが積極的であり、授業内容を進んで理解しようとしたかを見ます。課題の提出状況と内容も見ます。 (2) 思考・判断 課題に対しどのソフトを使うか、どうやって行うかを見ます。また、トラブル時の対処方法について見ます。 (3) 技能・表現 課題の意味を理解した内容をどのように表現していくかを見ます。 (4) 知識・理解 小テスト、定期考査、課題の完成度、表現方法を見ます。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—	重視する評価の観点				
期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知
1	4	パスワード・初期設定	<ul style="list-style-type: none"> 新しいIDとパスワードでログインすれば初期設定が必要なことを再確認し、自分の使いやすい環境に設定していくことを学びます。 	●			
		(1)情報処理の工夫	日検情報処理技能検定を題材として、表計算ソフトを使ったデータベース機能について学習します。	●	●		
	5		<ul style="list-style-type: none"> 論理関数の「AND」「OR」「NOT」、検索／行列関数の「VLOOKUP」、データベース関数の「DSUM」「DAVERAGE」「DMAX」「DMIN」「DCOUNT」、文字列操作関数の「LEFT」「RIGHT」、数学／三角関数の「ABS」に関して学習します。 過去問を使って何回も反復練習を行い、関数の修得を図ります。 				
		(2)ビジネス文書の作成	<ul style="list-style-type: none"> 1級取得を目指して情報メディアと連携して行います。 ①1級の筆記部分を用いて、時候の挨拶や校正記号などビジネス用語の修得を図ります。 ②2級・1級の通信文書を用いて、より高度なビジネス文書の作成の修得を図ります。 	●	●		●
	6	ワープロ検定練習	<ul style="list-style-type: none"> 筆記・実技共に、練習問題や過去問を用いて、繰り返し練習をします。 ここではワープロソフトを指定せず、自分の使いやすいソフトで作成します。 検定という限られた時間の中で文書を作成するために、いかに時間を短縮して作成すればよいかを判断してもらいます。 作成した文書はネットワーク上で提出します。 			●	●
		第2回定期考査 テスト返却	今までの総復習をかねて、考査を行います。		●		●
		速度打ちテスト	各自の打つ速度が違うため、統一問題で速度打ちのテストを行い、評価をします。	●		●	
	7	(3)いろいろな文書作成①	ここではワープロソフトを使用してPOP広告や感想文の作成を行い、表現力の向上を図ります。		●		●
		POP広告の作成	<ul style="list-style-type: none"> POPとは何かをまず学習します。 情ビ屋に向けてPOPを作成します。 新聞を使って市場での卸値を提示し、定価を各自で設定してもらいます。 作成はネットワーク上にある説明ファイルを使って、自学自習形式で行います。 提出はネットワーク上への保存とします。 壁に貼られた各POP広告から良い作品を3つ選びます POPの意味を理解し、購入意欲を促す作品かどうかを確認してもらいます。 	●	●		
		講評会					
	原稿用紙の作成①	<ul style="list-style-type: none"> 清掃奉仕活動の感想文を作成し、環境問題について自分の意見を述べてもらいます。 ワープロソフトのテンプレートを使って原稿用紙の作成を行います。 提出はネットワーク上への保存とします。 	●	●			
	自己紹介書の作成	<ul style="list-style-type: none"> 就職用の履歴書をモチーフとした自己紹介書を作成します。 今までの自分の活動を振り返り、面接対策とします。 					

期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	関	思	技	知
2	8	(4)ベンチャービジネス①	<ul style="list-style-type: none"> ・情報メディアで設立した会社単位で活動を行います。(1社あたり5~6人) ・基本的に課題はネットワーク上で提示し、提出はネットワーク上への保存とします。 				
		知的財産権とは	①知的財産権の中の「特許権」「実用新案権」「商標権」「意匠権」に関して学習します。				●
	9	商標権について	<ul style="list-style-type: none"> ②特許庁のWebページにある「特許電子図書館」を使い、実在の会社の商標を調べます。 ・自分たちの設立した会社が商標権を侵害していないかを確認します。 ・文字とデザインの商標について、興味をもったものをレポートとして提出します。 ・自分たちが設立した会社のlogoを作成し、会社の理念を表現してもらいます。 	●	●	●	●
	10	新商品開発に向けて①	<ul style="list-style-type: none"> ③アイデアをビジネスにつなげるための考え方を学習します。 ・青森県について調べ、レポートにします。 ・各自で新商品を考案し、社内会議の上、2つに絞ります。 	●	●		●
		発表①	<ul style="list-style-type: none"> ④各自、お客としての観点で新商品を評価します。 ・企画書をA3に拡大し、それを使って発表します。 	●			
		新商品開発に向けて②	<ul style="list-style-type: none"> ⑤販売戦略の一つである宣伝方法について学習します。 ・各自が思いつく宣伝方法を各社ごとに発表します。 ・各社の新商品について、購入意欲を促すためにどうすればよいかを考え、情報収集を行います。 	●	●		●
	11	発表②	<ul style="list-style-type: none"> ⑥各社目玉商品の一つに絞り、お客としての目線で評価します。 ・A2用紙6枚くらいに商品内容をまとめて、それを使って発表します ・発表時間は1社あたり3~4分くらいとします。 	●			
		活動費の計画作り	<ul style="list-style-type: none"> ⑦設備資金・運営資金の概念を学習します ・財務関数の「PMT」を使って、ローンの仕組みを学習します。 	●	●		●
		新商品の開発	<ul style="list-style-type: none"> ⑧新商品の開発を行い、東北経済産業局主催「発明王コンテスト」へ出品します。 ・パッケージのデザインを行います。 ・製造方法を確立させ、レポートにします。 ・実際の生産者に電話をしてコストダウンを図り、設備・運営資金をレポートにします。 ・商品を作成してデジタルカメラで撮影した後、コンテストに出品します 	●	●	●	●
	12	(5)いろいろな文書作成② 原稿用紙の作成②	<ul style="list-style-type: none"> 電話対応マナーの感想文を作成します。 ・ワープロソフトのテンプレートを使って原稿用紙の作成を行います。 ・提出はネットワーク上への保存とします。 	●	●		

期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	関	思	技	知
3	1	(5)ベンチャービジネス② 課題研究	①1月に行われる「ビジネスプランコンテスト」への準備をします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ PowerPoint を使って、会社の経営理念、考察した主力商品などを発表します。 ・ PowerPoint には Excel で作成した5カ年計画も添付します。 ・ 発表時の運営や審査員のお願い、資料作りなどは、全て自分たちで行います。 ・ 発表では <ul style="list-style-type: none"> ◆商品の POP 広告を A3 一枚で紹介します。 ◆30 秒の CM または実演をします。 ◆審査員の先生方に商品の体験をお願いします。 ◆審査員， 来客者， 情報ビジネスコース全生徒に投資家として新商品を判断してもらい、模擬紙幣を使って投資してもらいます。 ◆資金を多く集めた会社が優勝となります。 	●	●	●	●
		報告書の作成	②ワープロソフトを使って、ビジネスプランコンテストの報告書を作成し、PDF 形式で冊子にします	●		●	
		(6)卒業記念品の製作	教科より卒業記念品としてDVDをプレゼントします。その表面図を作成します。	●		●	